



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和5年3月10日（金）No 4 2 発行
文責：松本 卓也

優しく温かい仲間、かわいい後輩、熱心に指導して
くださる先生方に出会うことができ、幸せでした。

校舎を囲む桜の木々も小さなつぼみをつけ、開花の準備をしています。3日（金）、第54回卒業証書授与式を開催し、17名の卒業生が東陽中を旅立ちました。2月に植えたナデシコやパンジー、ビオラの花々も大事な門出を祝っています。卒業証書授与では、緊張のなかにもまっすぐな眼差しで証書を堂々と受け取る姿がありました。



送辞：「中体連陸上大会で、印象に残っていることがあります。私は競技の前、とても緊張していましたが、そんな時に、ある先輩が『頑張る』と声をかけてくれました。たった一言でしたが、その言葉がとても心強かったことを覚えています。先輩方と過ごした2年間の思い出と学びは、私たちの大切な宝物です。先輩方が築かれてきたこの学校を発展させていくために、努力していきます。」 生徒会長 Iさん

答辞：「最上級生としてみんなを引っ張っていく立場となった3年生。最も印象に残っているのは、運動会です。私は、団長としてとても悩みました。どうしたら、きつい練習をみんなが楽しんでくれるか、そもそも自分に務まるのか、不安でいっぱいでした。ですが、練習を重ねていくうちに嫌そうに踊っていたメンバーが、笑顔で踊ってくれた時は、とても嬉しかったです。とても大変だったけれど、より互いの絆を深めることができたと思います。（中略）みんなで一緒に行事を成し遂げていくうちに、少しずつ、クラスの仲が深まり、今では、後輩たちからうらやましがられるほどになりました。こうして、東陽中学校で過ごした3年間を振り返ると、私たちは多くの方々を支えていたと、改めて感じます。私は、優しく温かい仲間、かわいい後輩、熱心に指導してくださる先生方に出会うことができ、幸せでした。」 前生徒会副会長 Sさん

尊敬している先輩への思い、17名の仲間への思い、後輩への思い、保護者の方への思い等々、気持ちを含めた言葉の数々に、我慢していた私の涙腺も崩壊しました・・・卒業生、在校生、職員、保護者、教育委員様等、式に参加された全員の思いが詰まった感動の卒業式でした。17名の卒業生のみなさん、これで本当にお別れです。旅立つ君に、未来が幸多からんことを願っています。
“卒業、おめでとう！”



さりげない行動に感心しました！

先日、西宮町にお住まいのS様より、「先月、道の駅『東陽』で交通事故があったが、怪我した運転手を車から助け出して介抱してくれた中学生と小学生がいました。なかなか出来ることではないので、感心して電話しました。」とのお電話をいただきました。事故時の対応等、わかってもなかなか出来ることではあなかせん。「自立貢献」をまさに体現してくれました。（2年Kさん、Sさんです。）



絵に描くことで ふるさとへの愛情が何倍にもなる

3日（金）、「八代亜紀絵画コンクール」の表彰式が行われ、本校3年生のKさんが、見事大賞を受賞しました。東陽町が誇る重見橋を色彩豊かに表現してくれました。「東陽町には、日本遺産に指定されている石橋があるので、魅力を多くの人に伝えられたらと考えています。」と話してくれました。大賞受賞、おめでとうございませう。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）